

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和8年度 技術情報第8号(サトウキビ黒穂病)について (送付)

サトウキビ黒穂病について、下記のとおり取りまとめましたので、周知及びご指導をよろしくお願いたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>) にも掲載しています。



令和8年度 技術情報第8号

奄美地域では、サトウキビ黒穂病が一部の地域で発生しており、発生程度の高いほ場もみられています。黒穂病の蔓延を防ぐには、早期発見、発病株の持ち出しなどの防除対策が重要です。また、未発生地域では苗による病原菌の持ち込みを防ぐため、来歴を確認して使用しましょう。

1 対象病害虫 サトウキビ黒穂病

2 対象作物 サトウキビ

3 発生状況

- (1) 令和8年5月の巡回調査において、黒穂病の発生は熊毛地域では認められなかったが、奄美地域では発生ほ場率7.5% (平年:0.4%) と平年に比べて高かった (表1、2)。
- (2) 巡回調査における奄美地域の黒穂病の島別発生状況は、喜界島で発生程度「中」が1ほ場、徳之島で「少」が2ほ場であった (表2)。
- (3) 徳之島町花徳地区で、黒穂病の発生が局所的にみられたことから、令和8年5月21日に同地区の発生状況の補足調査 (118ほ場) を実施したところ、発生ほ場率は20%で、発生程度「多」のほ場も1% (1ほ場) 確認された (表3)。

4 発生生態および被害

- (1) り病茎は健全茎よりも茎が細く、節間が伸びて徒長し、先端部は長い鞭状物 (いわゆる黒穂) を抽出する (図1)。
- (2) 病原菌は糸状菌 (カビ) であり、孢子 (図2) が風や雨水で分散し、地上芽や地下芽に感染する。
- (3) 株出回数が多くなるほど感染リスクは高まる。
- (4) り病株から採苗すると植付後に発病し、周辺ほ場へも広がる。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 発病株は鞭状物 (図1) の出現前に、ほ場外に持ち出し、適正に処分する。
- (2) 鞭状物が出現した茎は、孢子の飛散を防ぐために、ビニール袋をかぶせて抜き取り (図3)、適正に処分する。
- (3) 多発ほ場や放棄ほ場は早急に更新する。
- (4) 抵抗性品種を植え付けるようにする。
- (5) 発病ほ場や隣接ほ場から採苗しない。また、来歴の明らかな苗を使用する。
- (6) 植付け時に苗の消毒を行う。

表1 熊毛地域のサトウキビ黒穂病発生状況（令和8年5月20日調査）

調査島名	調査年	調査ほ場数 (筆)	発生ほ場数 (筆)	発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場の作型 (ほ場数)	発生確認品種 (ほ場数)
					甚	多	中	少	無		
種子島	本年	5	0	0	0	0	0	0	5	—	—
	平年	5	0	0	0	0	0	0	5		

注1) 平年：平成28年から令和7年までの平均

注2) 発生程度 甚：発病株率7%以上、多：発病株率4～6%、中：発病株率2～3%、少：発病株率1%

表2 奄美地域のサトウキビ黒穂病発生状況（令和8年5月8日～18日調査）

調査島名	調査年	調査ほ場数 (筆)	発生ほ場数 (筆)	発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場の作型 (ほ場数)	発生確認品種 (ほ場数)
					甚	多	中	少	無		
奄美大島	本年	5	0	0.0	0	0	0	0	5	—	—
	平年	30	0	0.0	0	0	0	0	5		
喜界島	本年	5	1	20.0	0	0	1	0	4	株出(1)	農林27号(1)
	平年	5	0.2	4.0	0	0.1	0.1	0	4.8		
徳之島	本年	15	2	13.3	0	0	0	2	13	株出(2)	農林23号(2)
	平年	5	0	0.0	0	0	0	0	5		
沖永良部島	本年	10	0	0.0	0	0	0	0	10	—	—
	平年	5	0	0.0	0	0	0	0	5		
与論島	本年	5	0	0.0	0	0	0	0	5	—	—
	平年	5	0	0.0	0	0	0	0	5		
地域全体	本年	40	3	7.5	0	0	1	2	37		
	平年	50	0.2	0.4	0	0.1	0.1	0	49.8		

注1) 平年：平成28年から令和7年までの平均。なお、令和8年度は島ごとの調査ほ場数を変更した。

注2) 発生程度 甚：発病株率7%以上、多：発病株率4～6%、中：発病株率2～3%、少：発病株率1%

表3 徳之島町花徳地区のサトウキビ黒穂病発生状況（令和8年5月21日 同町糖業振興会調査）

調査ほ場数 (筆)	発生ほ場数 (筆)	発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場率 (%)					発生ほ場の作型 (ほ場数)	発生確認品種 (ほ場数)
			甚	多	中	少	無		
118	23	20	0	1	0	19	80	株出(22)、春植(1)	農林27号(15)、農林8号(6)、 農林17号(1)、農林23号(1)

注) 発生程度 甚：発病株率7%以上、多：発病株率4～6%、中：発病株率2～3%、少：発病株率1%



図1 サトウキビ黒穂病の症状（赤丸：鞭状物）
（大島支庁農政普及課特殊病虫害係喜界町駐在撮影）

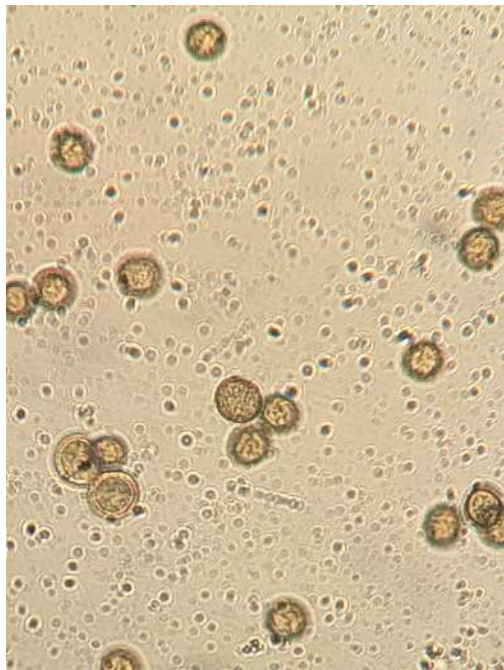


図2 サトウキビ黒穂病菌の孢子
図3 黒穂病発病株の持ち出し方法
（農業開発総合センター大島支場撮影）